

## 文 献

- 1) Acikel C. et al. : Various application of the medial plantar flap to cover the defect of the plantar foot, posterior heel, and ankle. Ann Plast Surg 2003 ; 50 : 498-503.
- 2) Jeng SF, et al. : Classification and reconstructive options in foot plantar skin avulsion injuries. Plast Reconstr Surg 1997 ; 99 : 1695-1703.
- 3) Kim SW. et al. : Sensate sole-to-sole reconstruction using the combined medial plantar and medial pedis free flap. Ann Plast Surg 2001 ; 47 : 461-464.
- 4) Kuran I. et al. : Comparison between sensitive and nonsensitive free flaps in reconstruction of the heel and plantar area. Plast Reconstr Surg 2000 ; 105 : 574-580.
- 5) Santanelli F. et al. : Free flap reconstruction of the sole of the foot with or without sensory nerve coaptation. Plast Reconstr Surg 2002 ; 109 : 2314-2322.
- 6) Sonmez A. et al. : Reconstruction of the weight-bearing surface of the foot with nonneuro-sensory free flap. Plast Reconstr Surg 2003 ; 111 : 2230-2236.

## ほっと ぷらざ

### Open か closed か ?

と言っても骨折の話ではありません。

整形外科医として駆け出しの頃、手関節切創症例で正中神経損傷を見過ごしてしまった苦い経験があります。「ここ触っているのわかりますか?」と、最初に知覚評価はしたのですが… 神経損傷でも多くの方は、触っているのは「分かる」と答えます。ここに **pitfall** があり、健常部位との比較など、ちょっと踏み込んだ質問をして初めて神経損傷を診断できることが少なくありません。

**Yes・No**, あるいは一言で答えられる質問を **closed question** と呼びますが、早く簡単に答えられる利点がある一方で、答えが制限されているために正確に伝わらないリスクもあります。臨床の場ではなかなか本当の **open question** は難しいかも知れませんが、単に「はい」「いいえ」、「分かる」「分からない」、「痛い」「痛くない」ではなく、もう少し患者さんの言葉で表現してもらうような問診・所見を取るように心がけたいものです。

ちなみに一般的に、会話を盛り上げるには **closed : open = 3 : 1** の割合にすると良いそうです。

札幌徳洲会病院 整形外科外傷部 倉田佳明